

提携先	ピップトウキョウ(株)	記入日	2008/10/8
登録消費材名	三角コーナー用水切りゴミ袋、排水口用水切りゴミ袋		

．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

<p>1．クレームゼロへの工場をあげての徹底 （5Sの徹底を始めとして、1枚のクレーム品はお客様にとっては100%のクレームであることの意識の徹底）</p> <p>2．コストアップの極限までの抑制 （素原料であるフィルム価格は3年前の2倍に達する価格です）</p> <p>3．徹底的な無駄の排除</p>

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

<p>1と3は、ほぼ達成しています。</p> <p>2が限界点をオーバーしています。</p>
--

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

<p>1．原料の値上げが続く中、品質を落とさずギリギリのコストUPで安定供給を図る</p> <p>2．上記の1と3の継続徹底をすること</p>

提携先	ピップトウキョウ株	記入日	2008/10/8
登録消費材名	除虫菊かとりせんこう		

．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

製品について、異物混合、折れ、汚れ等の検出、包装材についても、汚れかすれ、等のなき様、検品を強化している。

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

製品について、今年と同様であるが、入り数の確認等は達成できたと考える。

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

製品について、品質の確保、【原材料の受入検査の強化】等を今後の目標としたい。

提携先	ピップトウキョウ株	記入日	2008/10/8
登録消費材名	線香ケース		

．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

製品に対して、受入検査等を強化して、キズ、汚れ等のなきよう 検品の強化を目標にした。製品当社にて仕入れ数が多いので抜き取り検査になるので、限界がある。

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

昨年と同様、消費材基準項目番号 08 - 1 - A - 01 を推奨レベルに近づけるため、製品の試作を試みているが、金型のデザインなどで推奨レベルを満たすところまで行っておらず、達成するのに苦闘している。

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

受入検査等を一層強化して、検査数量の拡大、品質確保、安全確保に努める。

提携先	ピップトウキョウ(株)	記入日	2008/10/8
登録消費材名	クッキングペーパー 2 本組		

．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

<p>ゴミの削減 製造工程で排出される、端材、不良品など紙の種類により分別し、リサイクルできる物はリサイクルし、そうでないものについては、固形燃料に再利用するようになっていきます。生産材についてはほぼ 100% 上記に対応しています。</p> <p>CO₂の排出削減 工場全体のインフラ、生産設備、仕組みなどでCO₂削減に取り組んでいます。工場全体の照明について従来よりも省電力のものに変更、トイレ、通路などの照明はセンサーにより人がいなくなると消灯する、水道についてもトイレ、手洗い場についてはセンサーで余分な水を使わないようになっていきます。現場の取組としては、生産設備の待機電源等の電力削減、会社全体としては、物流用フォークリフトの電動化、チームマイナス 6 % の参加など環境に配慮した活動も行っています。</p>

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

<p>一昨年からの食品業界の不祥事多発で、食品関連工場への監査が多くなりこれに対応した管理、環境が求められています。</p> <p>ISO 9001 活動の継続、外部契約業者による防虫、防鼠のチェック、品質管理部門の立ち上げによる安全・衛生管理、異物混入対策、作業環境の整備など具体的に対応し、クレームの削減等に努めてまいりました。</p>
--

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

<p>資材高騰、食品の安全を脅かす事件が重なりコストダウンと同時に品質管理も益々求められる状況となっております。</p> <p>弊社も作業の効率化と品質管理の向上を目指します。</p>
--

提携先	ピップトウキョウ(株)	記入日	2008/10/8
登録消費材名	きりばいはる20P、はるくつ下15P		

．これまで努力してきたことや、生産条件の限界性など

カイロ内容物のリサイクル化へ向けての努力として、まずは工場内のゴミのリサイクルを進めることにした。カイロの原材料は、プラスチック包装材に鉄粉が入っており、一見すると再生が容易に思えるが、一度貼り合わせた製品を分別してリサイクルするのは難しかった。

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

カイロ生産時に、全ての廃棄物がカイロ状態、つまりプラスチック包材に鉄粉が入った状態というわけではなく、状態によっては、プラスチック包材のみの部分もある。まずはこの分だけでも分けてリサイクル原料へ回すことにし、条件に合うリサイクル業者を探してまわった。

そして一旦はリサイクル業者も決まり、藤岡工場では分別が始まったのだが、三田工場ではなかなか業者が決まらず、分別化が遅れていた。

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

ようやく業者も決まり、2008年10月から三田工場でも産業廃棄物を減らすためのゴミの分別化が開始する予定。

プラスチック包材のリサイクル。また、その後他の内容物に関してもコンクリートなどの建築資材へのリサイクル化が検討されている。